

神奈川県小田原市久野方言の否定の表現

嶺田 明美

I. はじめに

- ①調査対象地：神奈川県小田原市久野は、JR・小田急小田原駅の北西、久野川に沿って位置する、人口12959人・世帯数4287戸（1994.11.1現在）の集落である。集落は東西に長く、西側は山林・田畑が広がっているが、地区のほぼ中央を東西に走るバス通りに沿って近年アパート・マンションができ、住宅地となりつつある。東側は市立病院・農業協同組合等があり、小田原市街地に近く西側よりも開けている。本調査地点は西側で小田原駅から車では約15分の所、バス通りからは徒歩約10分ほどの所である。通勤圏は小田原市内・厚木市・横浜市・東京都等、買い物はほとんど小田原市内である。
- ②調査年月日：1994年11月20日 午後1時～3時30分
- ③話者：遠藤房子 大正元年生まれ（83歳）
家業は生産農家で農協にキウイフルーツ等を出荷している。
- ④調査者・調査場所：嶺田明美・話者宅
- ⑤調査方法：統一調査票による質問調査
- ⑥その他：①アクセントは棒引きで示す。
②調査者が誘導した答えは<誘>とした。
③質問に直接対応する回答が得られないことがあった。その場合は、その質問により得られた回答を記録した。

II. 調査結果

1. 行かない ○デンキガ ワリーカラ ドッコモ イカネーヨー
2. 降らないよ ①フラナソーダカラ デカケヨー / ②フラネーヨ<誘>
3. 行きません ○キョーワ ドコエモ イキマセン
4. 行きはしない ○ドッコエモ イクモンジャヨー
* <反語的>
5. いらっしゃらない ○ドコエモ イラっしゃラナイ
6. 行かなかった ①キノーワ ドッケモ イカナカッタヨー / ②ドッケモ デカケ
ナカッタヨー
7. 行きはしなかった ○イカナカッタヨー
8. 行くまい ①ドッケーモ イカネーツモリダーヨー / ②フリソーダカラ キョー
ワ ヨスベーヨー
* <～マイは、誘導しても得られなかった>
9. 出まい ○ドッケーモ デネーヨー<同上>

10. すまい ○キョーワ ナンニモ シネーツモリダーヨー<同上>
11. 降らないだろう ○キョーワ アメワ フラネーベヨー テンキワ ヨカンベー
12. 降るにちがいない ①アシタワ アメダンベヨー/アシター アメダベヨー
②アメニ チゲーネー<誘>
13. 来ない ○キョーワ ダレモ コナカンベーヨ
14. 来はしない ○キョーワ ダレモ クルモンカ
* <反語的>
15. 来なかった ○キノーワ ダレモ コナカッタヨー
16. 見ない ○ミナカッタナー
17. 居ない ○ダレモ イネーヨー
18. 行かずに ○キョーワ ドッケーモ イカネーデ ウチー イルヨー
* <「行かないで」の形で回答>
19. 行かなくても ○ナニモ コノ テンキノ ワリーノニ イクコト ネーベニヨ
ー
* <「行くことないだろうによ」という表現で回答>
20. 行かなければ ○イカナキャーヨカッタナー
21. 行かねば ○ドーシテモ アタシガ キョーワ イカナキャ イケネーダヨー
* <「行かなければいけない」に当たるか>
22. イカンナラン等の言い方 ○イカンナラン・イカナキャナラン等は言わない
23. ～ズ等の言い方 ○言わない
24. 行きもせず、来もしない ○イギモシナキャー キモシネーカラ エンギレダヨ
ー
25. 行くか行かないかわからない ○イクカイカネーカ ソノトキンナンナキャ
ワカンネーナー
26. 無い ○ナンニモ ネーヨー
27. 無いねえ ○コンナ ノクテー トジャー ネーナー
28. ありはしない ○コンナ トジャー メズラシーヨ
* <「こんな年はめずらしいよ」という回答>
29. 無かった ○コンナ アチー トジャー ナカッタナー
30. ありはしなかった ○コンナ アチー トジャー マー ナンネンニモ ナカッ
タヨナー
31. 無いだろう ○コンナ アツイ トシワ ナカンベーヨー
32. 無ければ 回答が得られなかった。
33. 暑くない ○キョーワ アツクネーナー スズシーナー
34. 暑くはない ○キョーワ アツクネーナー

35. 暑くなかった ○キノ^ワ アマリ アツク ナクッテ ヨカッタナー／アツク
ナカッタナー
36. 暑くはなかった ○アツク ナカッタ
37. 暑くないだろう ○アツク ナカンベ^{ナー}
38. 涼しくない ①ムシムシ アツクルシー^{ナー}／②スズシクネ^ー<誘>
39. にぎやかでない ○ニ^{ヤカ}デ ネ^ー
40. にぎやかではない ○ニ^{ヤカ}ジャ ネ^ーヨ^ー
41. にぎやかでなかった ○アンマリ ニ^{ヤカ}ナ トコジャ ナカッタヨ^ー
42. にぎやかではなかった ○ニ^{ヤカ}ジャー ナカッタナー
43. にぎやかではないだろう ○イマジャー マチ^ー デテイクヒトガ オ^ーイカラ
イマジャー ニ^{ヤカ}ジャ ナカンベ^ーヨ^ー
44. 花ではない ○アリヤ^ー ハナジャ ネ^ーヨ^ー
45. だめだ ○オメ^ー ソンナ ヤクニ タタネ^ーコター ヨセ^ーヨ^ー
*ダメダは誘導しても得られなかった。
46. だめな奴 ○アリヤ^ー ジブンカッテデナー ヒトノ ユ^ーコター キカネ^ーナ
ニ
*同上
47. つまらない ○ツマンネ^ーコト ユ^ーモンジャ ネ^ーヨ^ー
48. いけない ○アブネ^ーカラ イッチャ^ー イケネ^ーヨ (51参照)
49. 行カレンのような言い方 ○言わない
50. 行くな ○イッチャ^ー イケネ^ーッテンノニヨ^ー
51. するな ①イタズラ シチャ^ー イケネ^ーヨ／②ダメダッテ ユ^ーノニ ヤッ
チャー ダメダヨ^ー
(「ダメは今のことは、イケネーヨが方言」との説明があった。)
52. 行くもんじゃない ○ヒトリデ ソンナトコ イクモンジャ ネ^ーヨ^ー
53. たまらない ○アツクテ タマンネ^ーナー
54. 仕方がない ○マッテテモ ショ^ーガネ^ーナー
* (「しょうがない」で回答)
55. 楽ではない ○コノ アチ^ーニ トクマデ アルクナー {①テ^ーヘンダナー
／②ラクジャネ^ーナー<誘>}
56. 歩きたくない ○コノ アチ^ーニ トクマデ アルキタク ネ^ーナー
57. 大丈夫だ(～ナイ) ○{①デージョブダヨ^ー／②シンバイ シネ^ーデモ シ
ンバイ シテ クンネ^ーデモ イ^ーヨ^ー
58. いや ○ヤ^ー ア^ー コッチャ^ー フラナカッタヨ^ー
59. いや(強い否定) ○ヤ^ー フンナカッタ セ^ーバ^ーヨ^ー

60. いいえ ○イ^ーエ^ー フリマセンデシタヨ^ー
61. 否定問いかけに対する対応
 ①降らなかった場合 ○ヤ^ー フラナカッタヨ^ー
 ②降った場合 ○ア^ー コッチモ フッタヨ^ー
62. どういたしまして ○イ^ーエ^ー オタガイサマデー
63. できない
 ①断る場合 (回答が得られなかった)
 ②引き受ける場合 ○ア^ータ^ーシ^ーデ^ーヨ^ーカ^ーッタ^ーラ ヤ^ーッ^テ ア^ーゲ^ーヨ^ー
64. 読むことができない(状況) ○コ^ノ ア^ーカ^ーリ^ージャ^ー シ^ンブ^ン ヨ^ミタ^クッ^テモ ヨ^メネ^ーヨ^ー
65. 読むことができない(能力) ○コ^ノコ^ワ マ^ーダ シ^ンブ^ン ヨ^メネ^ーヨ^ー
 * <状況可能と能力可能の差は得られなかった>
66. 出られない ○コ^ンナ^ノジャ^ー キ^ルコ^トモ デ^キナ^キャ^ー ド^コエ^モ デ^ラレ^ヤ シ^ネー
67. 食べられない ○コ^ノ キ^ノコ^ワ ク^エネ^ーカ^チー
 * <「きのこ」のアクセントは中高型>
68. 食べることができない ○イ^ソガ^シク^ッテ ヒ^ルモ {①ク^ッチャ^ー イ^ラン^ネーヨ^ー / ②ク^ーマ^モネ^ーヨ^ー}
 * 「食べる」はクウ「食う」が対応し、タベルは得られなかった
69. 知るものか ○ソ^ンナ^コト^ー ワ^タシ^ャ シ^ラネ^ーヨ^ー
 * (<「シルモンカヨ^ーは男の人が使うことばだ」との説明があった。)<誘>
70. 誰が行くものか ○ヤ^ダヨ^ー イ^クラ サ^ソワ^レテ^モ ソ^ケー^ワ イ^キタ^カネ^ーチ^ー
 * <「行きたくない」の形で回答された。><ソ^ケー^ワ=「そこへは」>
71. なんで行くか ○ナ^ンデ ア^タシ^ガ イ^カナ^キャ イ^ケネ^ーノ^ヨー
72. なんで恥ずかしいものか ①ハ^ズカ^シー ト^シジャ^ー ネ^ーベ^ー / ②ハ^ズカ^シーコ^トネ^ージャ^ネーカ^ヨー
73. 行かないでおるものか、行くとも ド^ーシ^テモ イ^キテ^ーダ^ヨー
 * <「どうしても行きたいだよ」で回答>
74. やれるか ○オ^メー ヒ^トリ^デ ソ^レガ^ー デ^キル^ガ
75. シテイランのような言い方 ○言わない。ソ^ンナ^ニ ヤ^ナラ シ^テ ク^ンナ^クッ^テモ イ^ーヨ^ーのように言う。
76. 少しもはかどらない ○チ^ーツ^トモ ハ^カド^ラネ^ーヨ^ー
77. ぜんぜんできていない ○ゼ^ンゼ^ン シ^ゴト^ガ デ^キネ^ーヨ^ー
78. いっこうに降らない ○ゼ^ンゼ^ン フ^ラネ^ー

79. あまり降らない ①アンマリ フラネー／②マッテル トキニャ アメガ ネー
ナー
80. 予想外にたくさん取れた ○コトシャー ホーサクダーヨー オーアタリダ
* <「今年は豊作だよ、大当たりだ」の表現での回答>
81. いいではないか ○オメー ワザワザ ソッチノ ホーマデ イカネーデモ ヨ
カンペーニヨー
82. いいのではないか (回答が得られなかった)
83. いいかもしれない ○イッテモ イカネーデモ イージャーネーカヨー
* <「行っても行かないでもいいではないかよ」の表現で回答>
84. 行かないか ○タマニャー (①イコーヨー／②イクペーヨー／③イカネーカ[→]
<誘>)
85. 持ってくれないか ○カタッポー モッテ クレネーカ[→]
86. 持ってくれませんか ○スイマセンネー チョット オモイカラ イッショニ
モッテ クレマセンカ[→]
87. 下さいませんか ○スイマセンケド モッテ クダサイマセンカ[→]
88. 行かないと ○イソガネート オクレルヨー ハヤク イカナキヤ[→] <誘>

付録：調査中の歎談の中で得られた否定の用法

89. これからはそんなことをしている時代ではなかろう ○コレカラワ ソンナコト
ヤッテル ジダイジャ ナカロー[→]
90. 遠慮して返事をしない(の)ではないから ○エンリョシテ ヘンジ シナイ
デナイカラ
91. 偉くなれないではないのか ○エラク ナレナイジャ ナイア[→]
92. もう今年は(忙しくて温泉に)行っていられない ○モー コトシワ イッテラ
ンナイ

Ⅲ. 考察

以上、全体を見渡すと、久野地区の「～ない」にあたる否定辞は「～ネー」であろうことがわかる。

昭和女子大学方言研究会(学生サークル)で、学生と共に、小田原市・南足柄市・静岡県御殿場市一部および小山町一部において、70歳以上の男女に数十項目の言語調査を行った。そのなかで、「仕事を頼んだのにまだしない」「時間になったのにまだ来ない」を調査しているので、その結果と併せてみると、まず、小田原市内でも、小田原駅周辺の中心部に当たる本町・浜町では、シナイ／コナイであった。東海道新幹線沿いに東に向かった下堀地区(JR鴨宮駅近く)、さらに東に向かった小船地区(足柄上郡境界付近)では、

女性からはシナイ／コナイ、男性からはシネー／コネーが聞かれた。一方、久野地区では男女ともシネー／コネーであった。市内でも、差異があることがわかる。

久野地区から伊豆箱根鉄道大雄山線に沿って北側に行った南足柄市和田河原でも男女ともシネー／コネーであった。静岡県との県境を越えた小山町でも男女ともシネー／コネーが聞かれたが、「ネー」の部分が小田原市では [ne:]、小山町では [nɛ:] や [njɛ:] であったが、詳述はしない。

さて、各項目の内容について少し触れてみたい。

【名詞＋ナイについて】

1 「行かない」はイカネーであるのに対し、4 「行きはしない」については反語的表現イクモンジャヨが得られた。この方言では、「～では…」が、44 「花ではない」がハナジャナイのように「ジャ」となる。従って、イクモンジャは、「行くものではない」の「ない」が省略された表現であると考えられる。このように、「名詞（形容動詞の語幹）＋でない」と「名詞（形容動詞の語幹）＋ではない」は語形が異なる。39 「にぎやかでない」がニーヤカデネーであるのに対し、40～43 「にぎやかではない」がニーヤカジャネーとなっている。

【「べー」の使われ方について】

否定表現とははなれるが、関東地方の全域に活用語に「べー」がついて、意志・推量を表すことは知られている。群馬県・埼玉県・栃木県西南部を中心に、意志を表す場合には「カクべー」、推量を表す場合には「カクダンべー」を用いて区別する現象が生じ広がる傾向にあるという。また、形容詞に「べー」がつく場合は、茨城県・栃木県の一部、福島県の東南部以外では「タカカンべー」が一般的ではあるが、「タけーべー」（け：kɛ:) k のように言い切りの形につく形式が次第に広がりつつあり、1984年頃では埼玉県・茨城県南部でも少年層を中心に用いられるようになり、「べー」が文末助詞化しつつあるという（文献1）。

この地区ではどうであろうか。

動詞につく場合であるが、意志を表すと思われる、8 「行くまい」は（行くのはよそう）ヨスベーヨー、10 「仕事をすまい」は（仕事を休もう）オヤスミシベー・ヤスムベーであった。推量については、調査の合間に話者からのコメントで、カクべー（書くだろう）を用い、まれにカクズラヨも使用するとのことであった。結果、久野地区では「べー」に、意志と推量の使い分けがあるとは言えない結果になった。

否定辞の「ナイ」に「べー」が接続する場合であるが、13 「来ない」、31 「無いだらう」、37 「暑くないだらう」、43 「にぎやかではないだらう」を見ると、どれもナカンべー（13については「来ないだらう」が回答となった）で回答された。この年層で

は、「ネーベ」はまだ、一般的ではないことがいえると思うが、一方、72「なんで恥ずかしいものか」でハズカシー トシジャー ネーベ（恥ずかしい年ではないだろう）との回答が得られた。このことから、「ないだろう」は主にナカンベが用いられるが、ネーベも使われつつあると考えられる。あるいは、ナカンベは独り言のような推量の時に使われ、ネーベの方は相手が存在して、その相手に対して諭したり確認したりするような時に用いられるということも考えられる。

また、84 勧誘の表現でも、イクベヨというように「ベ」が使われるのは興味深い。いずれにしても、「ベ」の使われ方の追調査をして、考察したい。

文献1. 飯豊毅一「関東方言の概説」 飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一編『講座方言学5 関東地方の方言』（1984.6 国書刊行会）

【可能形の否定】

64 不可能（状況）と65 不可能（能力）はどちらもヨメネーヨーで、状況と能力の表現の差は現れなかった。

いわゆる一段活用動詞の可能の否定形は、66 デラレヤシネで、デレナイとは言わないようである。

（みねだ あけみ 昭和女子大学）